

5 平成20年度 横浜市立図書館の目標と振り返り

平成20年度に中央図書館と17の地域図書館が目標として進めた事業の内容等と評価は次のとおりです。

基本目標：市民の課題解決や暮らしに役立つ情報を提供し、積極的な図書館サービスを展開します。

●目標1 利用者にとって、より便利で快適な図書館を目指します。

項目1-1 安全で快適な環境づくり

評価 **C**

※評価の段階・内容については、P12を参照してください。

具体的取組（達成時期）	達成状況（平成21年3月末現在）
①AED(自動体外式除細動器)の設置など緊急時における対応力の向上に努めます。(全館、通年)	全館(複合施設に設置済みの2館を除く。)に、広告事業によりAEDを設置しました。職員対象の救命・AED操作研修を5回実施し、133人の職員が受講しました。
②館内における事故や盗難等の防止に努めます。(全館、通年)	全館で館内の巡回を強化し、声かけや掲示により注意喚起を行っています。また、中央図書館では防犯カメラを増設し、保土ヶ谷・磯子・戸塚の各図書館では防犯カメラの新設を行いました。
③年2回、防災訓練を実施します。(全館、～3月)	職員を対象とした防災訓練を各館で2回以上実施しました。
④利用者が自由にインターネット情報を閲覧できる公共情報端末を設置します。(未設置の地域図書館5館、～3月)	鶴見・神奈川・中・南・保土ヶ谷・泉図書館に設置し、全館でのサービス提供を開始しました。
⑤ISO14001の取組を進め、環境に配慮した事務事業を行います。(全館、通年)	行動計画に基づき省エネ等に配慮して事業を進めました。また、8月までに全職員を対象にISO職場研修を実施しました。
ISO14001: 企業や自治体などが行う事業活動が環境に与える影響を、組織的かつ継続的に削減するための管理システムを定めた国際規格のこと。	泉図書館では、夏の間、日差しを遮ることで館内の温度上昇を抑制するゴーヤプロジェクト「緑のカーテン」を実施しました。
⑥市民の不要本をリサイクルする場(リサイクル文庫)を提供します。(一部の地域図書館で試行、通年)	16館でリサイクル文庫を実施しました。
⑦利用者のマナーが向上するように日頃から働きかけを行うと共に、キャンペーンを実施します。(全館、10月)	読書週間イベント時にポスターや貸出レシートで利用マナー向上の呼びかけを行いました。(10月下旬～11月上旬の2週間)
⑧インターネットや利用者用検索機からの雑誌の予約を開始します。(全館、7月)	インターネットや利用者用検索機からの雑誌の予約を7月から開始しました。
⑨保土ヶ谷図書館の耐震補強等再整備工事を実施・完了します。(10～3月)	保土ヶ谷図書館の耐震補強等工事を10～3月に実施し、3月29日に再開館しました。
⑩掲示物の場所等の見直しにより、分かりやすい掲示に努めます。(全館、通年)	中央図書館では、地下1階・1階のサインを分かりやすいサインに変更し、掲示物の整理を行いました。また、鶴見図書館では、館内に掲示しているレイアウト図の変更、閲覧コーナーレイアウト変更等を実施しました。そのほかの図書館でも定期的に内容や場所を見直し、分かりやすい掲示に努めました。
⑪意見箱の設置等により利用者ニーズの把握に努めます。(全館、通年)	意見箱は全館に設置済みです。意見箱やカウンターにいただいたご意見は図書館運営の参考にさせていただきます。

項目1-2 身近な公共施設での図書館の貸出・返却の試行

評価 **C**

具体的取組（達成時期）	達成状況（平成21年3月末現在）																																									
前年度に引き続き、利便性向上に向けて、行政サービスコーナーや地区センター、駅返却ポストなどでの図書館の貸出・返却サービスを区役所と連携して試行的に実施します。	試行事業の利用状況は、20年度においても増加傾向にあります。20年度の1日平均の利用実績は次のとおりです。																																									
①旭区・二俣川駅、戸塚区・東戸塚駅の両行政サービスコーナーで図書取次サービスを実施します。(通年)	<p>1日あたりの平均利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th></th> <th>19年度</th> <th>20年度</th> <th>前年度比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">行政サービスコーナー</td> <td>利用者(人)</td> <td>265</td> <td>323</td> <td>122%</td> </tr> <tr> <td>貸出(冊)</td> <td>439</td> <td>531</td> <td>121%</td> </tr> <tr> <td>返却(冊)</td> <td>470</td> <td>643</td> <td>137%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">地区センターなど</td> <td>利用者(人)</td> <td>66</td> <td>105</td> <td>159%</td> </tr> <tr> <td>貸出(冊)</td> <td>106</td> <td>180</td> <td>170%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">駅(長津田駅を除く)</td> <td>返却(冊)</td> <td>123</td> <td>193</td> <td>157%</td> </tr> <tr> <td>返却(冊)</td> <td>441</td> <td>483</td> <td>110%</td> </tr> <tr> <td>長津田駅</td> <td>返却(冊)</td> <td>38</td> <td>58</td> <td>153%</td> </tr> </tbody> </table>	年度		19年度	20年度	前年度比	行政サービスコーナー	利用者(人)	265	323	122%	貸出(冊)	439	531	121%	返却(冊)	470	643	137%	地区センターなど	利用者(人)	66	105	159%	貸出(冊)	106	180	170%	駅(長津田駅を除く)	返却(冊)	123	193	157%	返却(冊)	441	483	110%	長津田駅	返却(冊)	38	58	153%
年度			19年度	20年度	前年度比																																					
行政サービスコーナー		利用者(人)	265	323	122%																																					
		貸出(冊)	439	531	121%																																					
	返却(冊)	470	643	137%																																						
地区センターなど	利用者(人)	66	105	159%																																						
	貸出(冊)	106	180	170%																																						
駅(長津田駅を除く)	返却(冊)	123	193	157%																																						
	返却(冊)	441	483	110%																																						
長津田駅	返却(冊)	38	58	153%																																						
②青葉区と連携し、奈良、藤が丘、若草台、大場みずが丘、美しが丘西の各地区センターと区民活動支援センター(田奈ステーション)で図書取次サービスを実施します。(通年)																																										
③青葉区内の東急線・駅返却ポストについては、引き続き、市が尾駅、青葉台駅、たまプラーザ駅の3か所に設置します。(通年)																																										
④緑区の長津田駅構内に返却ポストを設置します。(通年)																																										

「行政サービスコーナー」は二俣川、東戸塚。開所日1日当たりの利用数。「地区センターなど」は奈良、藤が丘、若草台、大場みずが丘、美しが丘西地区センターおよび田奈ステーション。開所日1日当たりの利用数。*「駅(長津田駅を除く)」は市が尾駅、青葉台駅、たまプラーザ駅。*「長津田駅」は平成19年12月1日からサービス開始。

●目標2 市民の調査研究を支援するとともに、図書館からの情報発信に努めます。

項目2-1 市民への広報の充実

評価 C

具体的取組 (達成時期)	達成状況 (平成21年3月末現在)
①図書館ホームページのコンテンツの充実、分かりやすいホームページづくりを進めます。(全館、通年) コンテンツ:データベースに蓄積されたデータや画像・音声データなどの内容・中身のこと。	多言語利用案内、インフルエンザに関するテーマリスト、青葉区風景写真データベース(山内)などホームページコンテンツの充実に努めました。3月にはホームページのリニューアルも行いました。ホームページへのアクセス件数は約638万件(ホームページビュー)あり、前年度と比べて約6.8%増加しました。また、蔵書検索ページへのアクセス件数は約786万件あり、前年度比で約16.8%増加しました。
②図書館情報紙「@Lib」などを通し、図書館情報の発信に努めます。(通年)	図書館情報紙「@Lib」を毎月発行し、図書館情報の発信に努めました。また、記者発表(36件)などを通じ、積極的な情報提供に努めました。
③広報よこはま区版で図書館情報を提供します。(一部の地域図書館、通年)	広報よこはまの区版に図書館からのお知らせやイベント情報を掲載するほかに、一部の地域図書館では本の紹介も行うなど図書館情報の発信に努めました。

項目2-2 企画事業の実施

評価 B

具体的取組 (達成時期)	達成状況 (平成21年3月末現在)
①図書館の機能や所蔵コレクションの紹介を目的に、見学会を開催します。(中央図書館、～12月)	「よこはま大学リレー講座」の一環として9、10月に見学会を実施しました。
②開港150周年事業に向けた取組として、開港に関連したテーマの展示・講座を開催します。(中央図書館・一部の地域図書館、～12月)	中央図書館及び一部の地域図書館で開港150周年に関連したテーマで展示・講演会等を実施しました。中央図書館の主な事業としては、「横浜開港前後・浮世絵東海道宿ものがたり-神奈川・保土ヶ谷・戸塚」展(12～1月)や「開国・開港期の都市横浜の記録」展(10月 場所 西武百貨店東戸塚店)などを実施しました。地域図書館では「写真パネル展 みなと・よこはま・百年祭」(泉 6月)や講演会「開港と園芸」(山内 11月)などを実施しました。
③図書館開館記念事業を実施します。(戸塚図書館30年、栄図書館20年、泉図書館20年、～3月)	戸塚図書館(開館30周年 8～11月)、栄図書館(開館20周年 11～3月)と泉図書館(開館20周年 11～2月)で記念事業を実施しました。
④横浜線開通100周年の記念事業を実施します。(中央図書館・神奈川図書館・港北図書館・緑図書館、～12月)	中央図書館と横浜線沿線の3館(神奈川・港北・緑)で、横浜線開通100周年をテーマとした巡回展示会(9～11月)を実施しました。また関連事業として電車工作会(港北 7月)、シンポジウム・写真展(中央 10月)、講演会(緑 10月)を実施しました。
⑤市民を対象に情報検索講座を開催します。(中央図書館・一部の地域図書館、～12月)	中央・鶴見・神奈川・中・南・旭・磯子・港北・緑・山内・都筑・瀬谷の12館で情報検索講座や検索機入門講座を実施しました。(前年度10館)
⑥地域情報や市政情報の展示・公開を行います。(中央図書館・一部の地域図書館、～12月)	中央図書館及び一部の地域図書館でさまざまな地域情報や市政情報の展示などを実施しました。主な事業として中央図書館では「地図と戦前資料に見るアフリカの変遷」(5月)、「横浜にプロ野球チームがやってきたーホエールズとベイスターズ、横浜スタジアムの30年」(8月)などを、地域図書館では講演会「旭の生き生き人間登場『映画作りのウラ話』」(旭 11月)、講演会「写真(映像)で見る港南区の歴史」(港南 2月)などを実施しました。
⑦教科書展示会を開催します。(全館、6～7月)	全館で延121日間展示し、期間中に合計1,359人(前年度1,552人)の来場者がありました。(6～7月)
⑧他機関が実施する展示会やフォーラムで、資料展示やリストの配布などを行い図書館を積極的にPRします。(中央図書館・一部の地域図書館、～12月)	図書館総合展に出展(11月 総合展参加者延23,360人 前年度23,090人)したほか、一部の地域図書館では他機関主催の事業に参加し、積極的に図書館のPRを行いました。
⑨市内の大学と連携し、市民向け講座を開催します。(中央図書館、9～12月)	大学・都市パートナーシップ協議会、都市経営局と連携し、「よこはま大学リレー講座」全17講座を中央図書館で開催しました。(9～12月)
⑩区役所等と連携し、郷土資料の展示会などを行います。(一部の地域図書館、～12月)	一部の地域図書館では、区役所と連携し地域情報や郷土資料の展示会を行いました。主な取組として、市営地下鉄グリーンライン開通記念関連展示(緑 3～4月)、写真展「弥生台日記～春夏秋冬の生きものたち」(泉 7～8月)、「金沢図書館のお蔵出し」(金沢 10月)、「牛込の獅子舞」の写真・ビデオ上映会及び親子講演会(山内 9～10月)、「CO-DO30 地球温暖化防止」キャンペーン・資料展示(磯子 10月)、「大岡リバー展」(南 12月)などを実施しました。

項目2-3 市民の調査研究への支援

評価 C

具体的取組 (達成時期)	達成状況 (平成21年3月末現在)
①Eメールでのレファレンスを引き続き進めます。(中央図書館、通年) レファレンス :利用者の調べものや資料の相談などに対し、必要とする図書館資料の紹介や提供、情報入手の手助けを行うこと。	1年間に1,175件の相談を受け付けました。(前年度812件、45%増)
②目録やパスファインダーを作成、提供します。(中央図書館、通年) パスファインダー :ある特定のトピックに関する資料や情報を収集する手順を簡便にまとめたもの。	企画展示等にあわせて「地球温暖化を考える2008」「認知症について知る」「裁判員制度を知る」「世界をリードする日本の科学者たち」等のテーマリストや「横浜みどり税を調べる」「インフルエンザについて調べる」等のパスファインダーを作成したほか、既存目録の改訂作業を行いました。
③レファレンス事例集の充実を図ります。(中央図書館・一部の地域図書館、通年)	中央図書館では図書館ホームページのレファレンス事例集の充実を図り、緑・山内・戸塚・泉・瀬谷図書館は、各図書館のホームページの郷土関係情報の充実を図りました。

項目2-4 課題解決に役立つ情報の提供

評価 C

具体的取組 (達成時期)	達成状況 (平成21年3月末現在)
①法律情報サービスの充実を図り、併せて裁判員制度の広報に協力します。(中央図書館、通年)	中央図書館で法情報コーナーを開設し(12月)、関連事業としてパネルディスカッションや映画上映会(9~10月)のほか、展示(9月、12~1月)を行いました。地域図書館では、展示・DVD上映会・セミナー(山内 12~1月)、展示(磯子 12月、南 1~2月、都筑 2月、瀬谷 2~3月)を実施しました。法情報コーナー開設及び関連イベントについては新聞・ミニコミ紙で7件報道されました。
②医療情報コーナー、ビジネス資料コーナー、外国語本コーナーの資料の充実をめざします。(中央図書館、通年)	新刊を随時、購入・追加しました。また、コーナー案内チラシの改訂をするともに、関係部署・施設に広報用のチラシ・パンフレット等を配布しました。
③市民の課題解決に役立つ情報を提供するため、テーマ展示を実施します。(中央図書館・一部の地域図書館、通年)	「環境月間パネル展」「ヨコハマと移民展」(中央 6月)、「介護予防がわかるパネル展」(山内 2月)等のテーマで展示を行いました。
④インターネット情報を積極的に収集し、使いやすい形にして提供します。(中央図書館、通年)	国や市のホームページから入手した「インフルエンザ」「冷凍餃子」等の健康情報を印刷し、医療情報コーナーの展示架に置き、閲覧できるようにしました。また、「内定取消・解雇問題」のリンク集を作成し図書館ホームページに掲載しました。
⑤市役所が所蔵する専門的な新聞・雑誌の情報収集に努め、図書館資料との連携を図ります。(中央図書館、通年)	庁内の所蔵状況をもとに、庁内からの調査・照会に活用しました。

項目2-5 横浜関連資料の収集・保存・活用

評価 C

具体的取組 (達成時期)	達成状況 (平成21年3月末現在)
①行政資料や郷土資料のほか地域情報の収集に努め、市民が必要とする情報を提供します。(全館、通年)	寄贈等により行政資料・地域資料を受け入れ、利用に供しました。
②横浜の歴史に関する資料の一層の活用と利用者の利便性の向上を図ります。(中央図書館、通年)	市史資料室と連携をとりながら、ヨコハマ資料と横浜市史関連資料の相互利用を進めました。
③文化財課と連携し、郷土資料等の企画展示を2館で実施します。(一部の地域図書館、~3月)	郷土資料展を実施しました。(鶴見 9~10月、都筑 11月)

項目2-6 行政への支援

評価 C

具体的取組 (達成時期)	達成状況 (平成21年3月末現在)
市政の業務遂行に必要な資料・情報を提供することで、行政サービス向上のための支援を行います。(中央図書館、通年)	1年間に1,398件の相談を受け付けました。(前年度1,195件、17%増)

●目標3「横浜市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書活動の推進に努めます。

項目3-1 読書の支援

評価 B

具体的取組（達成時期）	達成状況（平成21年3月末現在）
①おはなし会や読み聞かせの講習等を通じて、幼児を持つ保護者に子どもの読書推進や図書館利用を促します。（全館、通年）	「横浜国立図書館児童サービスの基本的考え方」及び「横浜国立図書館児童サービス2か年計画」を作成しました。（12月） 各図書館で、おはなし会などを通じて、子どもたちの読書推進や図書館利用を促しています。また夏休み期間には、特別おはなし会や図書館体験などの行事を多くの図書館で実施しました。 小中学校教育課・生涯学習課・子ども読書活動推進大作戦実行委員会などと連携して中央図書館で読書フェスティバルを開催しました。（11月） 一部の地域図書館で地域のおはなしフェスティバルなどのイベント等に参加し、図書館利用や子どもの読書推進をPRしました。
②全館に設置している「ティーンズコーナー」を通して、10代の人たちの読書習慣の獲得・支援、社会参加につながる情報提供を行います。（全館、通年）	10代向けホームページ「ティーンズページ」で2週間ごとに新着図書を紹介しているほか、一部の図書館で「おすすめの本」の募集・掲示、通信の発行などを行いました。
③福祉保健センターや地域子育て支援拠点等と連携して、乳幼児向けのおはなし会や資料配布を行います。（一部の地域図書館、通年）	横浜国立図書館として新たに乳幼児向け絵本紹介・図書館案内パンフレット「おひざにだっこで楽しむ絵本」を作成し、各区福祉保健センター（乳幼児健診時）及び市立図書館で配布を開始しました。（3月） 鶴見・磯子・戸塚・都筑図書館では各区の福祉保健センターと連携して、乳幼児健診を受診する親子に対してわらべうたや絵本の紹介と図書館の案内を行いました。4館あわせて74回行い、延3,450組の親子が参加しました。（前年度3館、92回、2,927組） 一部の図書館では絵本リスト等の資料を提供しました。
④保育園での出張おはなし会や保育士・職員に対する研修等を通し、読書活動と図書館利用の促進を図ります。（一部の地域図書館、通年）	鶴見・緑図書館で保育園等への出張おはなし会（22回 1,437人）を行いました。（前年度 2館、9回、678人）また保育士・職員等に対する研修への図書館司書の講師派遣は4館（鶴見・中・磯子・緑）で計7回実施しました。（参加人数延239人）
⑤子どもの読書活動の推進と図書館利用の促進を目的に、読書スタンプラリーを（全館、4～6月）、また、相鉄沿線図書館スタンプラリーを実施します。（保土ヶ谷図書館・旭図書館・泉図書館・瀬谷図書館、7～8月）	「子ども読書の日」（4月23日）の関連事業として、全館で「読書スタンプラリー」（4～6月）を実施し、延13,000人の子どもに質問用紙を配布しました。また、中央図書館では「第19回読書感想画コンクール横浜地区入賞作品展示」（4～5月）を実施し、各図書館ではホームページで紹介した子どもの本「読んでみよう こんな本」を展示しました。 としょかんキッズスタンプラリーは7～8月に、保土ヶ谷・旭・泉・瀬谷の4図書館合同で実施しました。

項目3-2 ボランティアの養成・支援、市民との協働

評価 B

具体的取組（達成時期）	達成状況（平成21年3月末現在）
①読み聞かせ等ボランティア養成講座を実施します。（中央図書館・一部の地域図書館、9～12月）	読み聞かせ等ボランティア養成講座については、3コース8会場（中央・中・港南・旭・金沢・港北・山内・泉）で実施しました。 鶴見・神奈川・港南・旭・瀬谷図書館は、独自事業として読み聞かせボランティア向け講座を実施しました。また緑・山内・都筑図書館では、3館合同の学校図書ボランティア講座の中で実施しました。
②読み聞かせ等ボランティア交流会を6館で開催します。（中央図書館・一部の地域図書館、～2月）	8館（中央・南・港南・旭・磯子・戸塚・栄・瀬谷）で実施しました。
③ボランティアのための図書修理講座を実施します。（一部の地域図書館、12～3月）	磯子・瀬谷（2月）、神奈川（3月）図書館で実施したほか、山内（6月）・都筑（2月）図書館の学校図書ボランティア講座の中でも実施しました。また磯子図書館では、市民と協力しての講座も実施しました。（9～10月）
④市内の読み聞かせボランティアグループの研修会に司書を講師として派遣します。（中央図書館・一部の地域図書館、通年）	中央図書館と地域図書館あわせて16館から延52回、学校や地域で活動するボランティアグループの研修会に司書を派遣しました。

項目3-3 学校教育及び学校図書館への支援

評価 B

具体的取組（達成時期）	達成状況（平成21年3月末現在）
①児童・生徒の図書館見学や職業体験学習を受け入れ、内容の充実に努めます。（全館、通年）	図書館見学では215件、延6,992人（前年度 199件、7,460人）の児童・生徒が来館し、職業体験学習（職業インタビュー含む）では、166件、延597人（前年度129件、474人）の中学生・高校生を受け入れました。
②利用案内の配布などを行い、教職員向け貸出制度の普及に努めます。（全館、通年）	教職員向け研修会や連絡会等で資料を配布するなど、教職員向け貸出制度の普及に努め、貸出冊数が15,182冊で、昨年度より2,786冊（約22%）増加しました。

③学校図書館向けの図書展示会を開催します。(中央図書館、12月)	展示内容の見直しをするため、20年度は実施しませんでした。
④司書教諭等学校図書館担当者向けの研修に司書を派遣します。(中央図書館・一部の地域図書館、通年)	教職員を対象にした研修会等に25回、司書を派遣しました。
⑤司書が小学校を訪問し、おはなし会やブックトークを実施します。(一部の地域図書館、通年)	延149校、8,980人(前年度 65校、5,440人)の児童・生徒を対象に、おはなし会やブックトーク(本の紹介)を実施しました。
⑥司書が「まち」とともに歩む読書活動推進校を訪問し、蔵書や運営に関する案内や助言を行います。(中央図書館、通年)	「まち」とともに歩む読書活動推進校72校のうち55校に対して、司書が教職員やボランティアへ研修・助言を行ったり、児童・生徒を対象に図書館見学やブックトーク、調べ学習などの対応をしました。また、同推進校の教職員からの相談に、電話や来館により日常的に対応しています。(全館)

●目標4 これからの図書館を視野においた取組を進めます。

項目4-1 図書館サービスの向上と最適な管理運営手法の決定及び導入計画の策定

評価 C

具体的取組 (達成時期)	達成状況 (平成21年3月末現在)
「横浜市立図書館のあり方懇談会」の提言を踏まえ、これからの図書館運営にふさわしいサービスのあり方と効率的な管理運営手法を、他都市の先事例を参考にしながら、導入計画を策定します。(中央図書館、～12月)	図書館サービスを維持・向上させるとともに、より効率的、効果的な運営を図るため、平成22年度から青葉区・山内図書館への指定管理者制度導入計画を策定し、推進しました。 また、中央図書館サービス課では、司書補助業務における効果的運用を検討し、労働者派遣導入を平成21年4月から実施することが決定しました。移動図書館業務については市民協働の運営方法を検討し、平成21年4月からの実施を決定しました。

項目4-2 効率的な図書館運営と財源確保

評価 C

具体的取組 (達成時期)	達成状況 (平成21年3月末現在)
管理運営経費の節減に努めるとともに、広告事業等により自主財源の確保を図ります。(全館、通年)	積極的に広告事業に取り組み、約300万円(前年度 約313万円)の財源を創出しました。また、管理運営経費についても同様に節減に努め、約400万円(前年度 約83万円)の節減を実現しました。 平成20年度の新たな取組 ・小学校1年生向け利用促進パンフレットの配布(5月) ・AEDスタンド設置(6月) いずれも広告を入れることで無料で配布・設置を実現しました。 中央図書館1階総合カウンター、地下1階音楽映像カウンターにおける電子番号案内表示板において、また地下1階飲食コーナーにおいて行政情報掲示板等の広告事業を計画し、平成21年4月から運用が決定しました。

●目標5 図書館スタッフのレベルアップを行います。

項目5-1 窓口対応の向上

評価 C

具体的取組 (達成時期)	達成状況 (平成21年3月末現在)
利用者へのあいさつ・声かけを励行し、親切・ていねいな対応に努めます。(全館、通年)	職員の打ち合わせ等の中で対応研修を実施するなどして窓口対応の向上に取り組みました。

項目5-2 知識・技能の習得

評価 C

具体的取組 (達成時期)	達成状況 (平成21年3月末現在)
利用者の要望等に十分に答えられるよう専門研修を実施します。(全館、通年)	新採用司書職員を対象にしたフォローアップ研修、採用11～14年目の職員を対象にした中堅職員研修を実施しました。また、郷土資料・児童サービス等に関する専門研修を実施し、神奈川県図書館協会等が実施する専門研修にも司書職員を派遣しました。

●その他(目標設定以外の取組)

具体的取組 (達成時期)	達成状況 (平成21年3月末現在)
中央図書館の公開空地部分の目的外駐輪等の防止	中央図書館敷地内に時間外に図書館利用以外の目的で駐輪使用している自転車・オートバイ等の利用者に対し、声かけを行い、注意を喚起することにより、公開空地部分の目的外駐輪等を防止し、利用者が本来の目的で使用できるように改善しました。

取組の評価について

*評価は図書館の内部評価です。

段階	内容
A	優れた取組があり、目標を大きく上回る成果があった。
B	目標どおり取組を実施し、目標を上回る成果をあげた。
C	目標どおり取組を実施し、一定の成果をあげた。
D	目標どおりの取組ができなかったため、十分な成果をあげることができなかった。
E	実施できていない。課題の整理・計画の見直しが必要である。